

地域社会と連携した体験型環境教育の試み — 環境NPOとの連携を中心に（12）—

藤野裕弘^{*1}・日比慶久^{*2}・倉元隆之^{*1}・藤吉正明^{*1}・岩本泰^{*1}・室田憲一^{*1}・北野忠^{*1}

1. はじめに

東海大学では、環境分野における文理融合型の人材育成および研究の向上を図り、その成果を、地域・社会に還元することを目的の一つとした環境憲章を1997年に発表している¹⁾。また、教養学部では、広い視野を持った人材を育成するため、学部共通科目を段階的に履修させ、実践系科目に結び付ける学部共通領域を構築している。さらに、教養学部人間環境学科では、自然科学系と人文・社会科学系カリキュラムを融合させた人間環境領域（総合環境科学系）を設けている^{2, 3)}。人間環境領域では、人間環境に関わる様々な問題を、人文・社会・自然科学の枠にとらわれない広い視野から考え、問題解決に向けて行動できる人材の育成を目的に、実践的な環境教育プログラムが用意されている^{2, 3)}。この特徴的な環境教育プログラムは、2011年度の日本学術会議環境学委員会環境思想・環境教育委員会21期提言の中で引用されるに至っている⁴⁾。こうした背景のもと、我々は、様々な体験型環境教育プログラムを実施してきた⁵⁻¹⁸⁾。

今回も、2021年3月に北海道夕張郡栗山町において、地域環境NPOとの連携を中心に、町役場及び教育委員会、とも連携した実践的環境教育プログラムを実施したので、その詳細を報告する。

2. 実施日程

本実習では、栗山町の自然と文化・産業等を含めた、より良い環境教育につながる実施案を提案するため、以下のスケジュールで実施した。例年、実習は2月に実施してきたが、コロナ感染拡大の影響を受け、今回は少し時期をずらし、3月上旬に実施した。

3/5～9 東海大学環境保全演習スケジュール					2021年2月15日
日付	時間	内容	会場	備考	スタッフ
3/5 (金)	7:40	集合	羽田空港 第1ターミナル	空港第1ターミナル1番時計台前に集合 (集合時間までに各自手荷物を預けておくこと)	
	8:20～9:55	飛行機移動	機内	JAL便	8:30出発 佐藤
	8:40～9:40	バス移動	栗山町～新千歳空港		佐藤バス乗車
	10:10	出迎え	新千歳空港 到着口		バス乗車 佐藤
	10:20	バス移動	新千歳空港内 1階北端 貸切バス呼び出し口	冬季の為時間にゆとり	
	11:30～15:00	ウボボイ見学・昼食	ウボボイ	昼食含む	アイヌ文化
	15:00～16:30	バス移動	ウボボイ～栗山町		
	16:30～17:00	雨煙別小学校 コカ・コーラ 環境ハワス動画・荷物入れ	雨煙別小学校	各自、宿泊室に荷物入れる 男子→宿泊室A 女子→宿泊室B →宿泊室C	高木館長
	17:00～17:30	開会式・オリエンテーション	雨煙別小学校 作業室	開会式 ・スタッフ自己紹介等 ・演習全般について→藤野先生 ・ハウスの使い方→高木館長 ・Missionについて→佐藤	佐藤
	17:30～18:00	講演① 栗山町のまちづくり	雨煙別小学校 作業室	栗山町経営企画課 東庄 主事	
	18:00～18:30	休憩・配膳支援	雨煙別小学校 食堂		
	18:30～20:00	夕食懇談会	雨煙別小学校 食堂	北海道実習に期待すること ：各自学生発表 NPO、教育委員会スタッフも同席 後 宏教員長	佐藤
	20:30～21:00	雪国体験① アイスキャンデル作り	雨煙別小学校	しずく型アイスキャンデル	講師：NPO法人雨煙別学校
	21:00～23:00	入浴・就寝準備	雨煙別小学校	学生貸出し支援	
	23:00	就寝・消灯			

投稿日 2021年12月22日 受理日 2022年1月12日

*1 教養学部人間環境学科自然環境課程 *2 スチューデントアチーブメントセンター

3/6 (土)	6:30	起床	雨煙別小学校 宿泊研修室		
	7:00～	朝食・活動準備	雨煙別小学校 食堂	朝食後、活動準備	
	8:30～9:30	講演② 栗山町の歴史・地形・ 自然・文化・環境保 全・農・食・暮らし全 貌	雨煙別小学校 作業室	NPO法人雨煙別学校 理事 高橋 慎氏	佐藤
	9:30～9:45	休憩準備	雨煙別小学校		
	9:45～11:45	町内アイヌ文化関係見 学	栗山町開拓記念館 ほか	アイヌ語地名 テッピリア など	高橋さん
	11:45～12:45	昼食		雨煙別小学校	
	12:45～13:45	講演③ ふるさと自然体験教育 (学校教育と社会教育 の融合)	雨煙別小学校	NPO法人雨煙別学校 諸橋 淳氏	
	13:45～14:00	休憩		替替え	
	14:00～14:15	バス移動			
	14:15～16:45	雪国体験② 越中野菜収穫 里山間伐・新製り体験	ハサンベツ里山	湧水観察・越冬野菜収穫体験 新製り体験	
	16:45～17:00	バス移動			
	17:00～18:00	オオムラサキ館見学・休憩	オオムラサキ館		
	18:00～19:00	夕食	蘆山		
	19:00～21:00	雪国体験③ ナイトハイク	栗山公園～展望台		講師：NPO法人雨煙別学校
	21:00～21:15	バス移動			
3/7 (日)	21:15～23:00	入浴・就寝準備	雨煙別小学校	学生買出し支援	
	23:00	就寝・消灯		かまくらでねたけりゃ寝てよし	
	7:00	起床	雨煙別小学校 宿泊研修室		
	7:30～	朝食・活動準備	雨煙別小学校 食堂	朝食後、活動準備	
	8:45～9:15	オリエンテーション	雨煙別小学校	佐藤	
	9:15～9:30	替替え			
	9:30～12:30	雪国体験④ イグルー作り	雨煙別小学校 グラウンド	雨煙別プログラムと合同	講師：NPO法人雨煙別学校
	12:30～13:30	昼食			
	13:30～14:30	GW① ツアー検討	雨煙別小学校 作業室	各グループで発表に向けた準備 (途中にキャンドルの仕上を実施)	講師：NPO法人雨煙別学校
	14:30～16:30	雪国体験⑤ 本格的な雪合戦	雨煙別小学校 グラウンド	2チーム総当たり【3試合】 (VS スタッフ)	
	16:30～18:00	休憩			
	18:00～19:00	夕食	雨煙別小学校 食堂	配膳支援	
	19:00～20:30	GW② 発表に向けた準備	雨煙別小学校 作業室	各グループで発表に向けた準備	
	20:30～21:30	自然体験 たき火	雨煙別小学校	しずく型アイスキャンドルも設置	講師：NPO法人雨煙別学校
	21:30～23:00	入浴・就寝準備	雨煙別小学校	学生買出し支援	
3/8 (月)	23:00	就寝・消灯		かまくらでねたけりゃ寝てよし	
	7:00	起床	雨煙別小学校 宿泊研修室		
	7:30～	朝食・活動準備	雨煙別小学校 食堂	朝食後、活動準備	
	8:30～9:30	雪国体験⑥ 雪の結晶調べ	雨煙別小学校 校庭	天候等影響あり、臨機応変に対応	講師：NPO法人雨煙別学校 佐藤
	9:30～12:00	GW④ 発表に向けた準備			
	12:00～13:00	昼食	視察先		
	13:00～14:30	匠の森 見学 地産地消の取り組み	手作り家具ショールー ム「匠の森」	遺産材を使った家具ショールーム 地産地消を学ぶ	
	14:30～15:30	雪中かるた大会			講師：NPO法人雨煙別学校
	15:30～18:00	GW⑤ 発表に向けた準備	雨煙別小学校 作業室		
	18:00～19:00	夕食交流会	雨煙別小学校 食堂		
	19:30～21:00	GW⑥ 発表に向けた準備	雨煙別小学校 作業室		
	21:00～23:00	入浴・就寝準備	雨煙別小学校		
	23:00	就寝・消灯			
	7:00	起床	雨煙別小学校 宿泊研修室		
	7:30～	朝食・活動準備	雨煙別小学校 食堂	朝食後、活動準備	
3/9 (火)	9:00～12:00	GW⑥ 発表に向けた準備	雨煙別小学校 作業室	各グループで発表に向けた準備	NPO法人雨煙別学校 佐藤
	12:00～13:00	昼食	雨煙別小学校 食堂	配膳支援	
	13:00～14:00	最終提案 プレゼンテーション	雨煙別小学校 作業室	1グループ30分 2グループ (フレ20分+質疑応答10分)	
	14:00～14:30	閉会式+アンケート		挨拶等	
	14:30～16:00	片づけ・清掃	雨煙別小学校	各部屋清掃	
	16:00～17:00	出発・バス移動		環境ハウス～新千歳空港	
	17:00	解散・終了	新千歳空港		

3. 実施内容

今回の体験プログラムでも、栗山町の自然や文化・産業を把握（事前調査と現地見学・体験）した上で、栗山町の様々な良さを活かしたより良い環境教育プログラムの提案を行う授業内容であった。そのため、プログラム前半では自然体験や施設見学を、後半ではグループワークや発表準備などの作業を中心に体験や講義等が実施された。

まず、羽田空港から北海道の新千歳空港に到着後、アイヌ文化を見学・体験するためにウポポイの見学を行った。ウポポイは、北海道南部の白老町にあるアイヌ文化を学ぶための国立公共施設であり、民族共生象徴空間としての役割を果たすことを目指してアイヌ語の「歌うこと」を意味するウポポイという名が付けられた。その後移動し、環境ハウスに到着した。到着後、開校式として環境ハウス及び地元 NPO グループの方々から環境教育活動についての説明を受け、今後の活動に受けたグループワークやガイダンスが行われた。

2 日目は、栗山町の環境保全の活動内容の講義や文化施設の見学を済ませた後で、町内の里山環境が残されているハサンベツ里山において湧水付近の生物観察や木の伐採等の里山管理体験を行った（写真 1－2）。それから、さらに里山を満喫するために里山雑木林においてナイトハイクも実施された（写真 3）。

3 日目は、さらに利雪体験として、雪をブロック状に固めて積み上げたドーム型の家：イグルー作り体験と栗山町が力を入れているスポーツ雪合戦、風船を利用して作るアイスキャンドル作りなどを体験させていただき、氷点下での生活の楽しみ方を教えていただいた（写真 4－5）。

4 日目は、雪の結晶の観察や道産木材を活かした家具作りを進められている匠の森（家具ショールーム）の見学をさせていただき、道産木材の種類や製作者の物作りに対する考えなどを丁寧に説明していただいた（写真 6）。その後、新しい試みとして雪中かるた大会が行われ、NPO の方々とのまた参加者同士の交流ができた。

最終日には、グループ内で議論を重ねた結果取りまとめ、地域の方々やお世話になった方々をコカ・コーラ環境ハウスにお招きして、意見交換や学生たちの企画した環境教育の提案をさせていただいた。今回の参加学生は、7 名（自然環境課程の 3－4 年）であり、全員の力を結集させ、地域活性化や次の新たな環境教育プログラム作成につながる企画の提案を行った（写真 7－8）。

4 泊 5 日の短い活動であったが、朝から夜までの集団活動の中で、それぞれ体験を通して感じたことを議論し合い、お互いの意見を尊重しながら発表に向けた取りまとめを行ったことは、個人の成長とともに皆の心に深く刻まれたことと思われる。現在、まだコロナ感染が続いている状況ではあるが、感染対策を十分整えたうえで、今年度 2022 年も実施予定であり、より効果的な環境教育を実施すべく NPO 団体及び町役場教育委員会と調整を進めている。

4. 謝辞

この教育研究の一部は、2020 年度教養学部教育・研究補助金の支援を受けて実施された。また、実習を通して、栗山町役場教育委員会の皆様、NPO 雨煙別学校の皆様、北海道コカ・コーラ札幌工場の皆様には大変お世話になった。関係各位に心より感謝申し上げる。

引用文献

- 1) 東海大学環境憲章 <http://www.u-tokai.ac.jp/ems/kankyokensyo.htm>
- 2) 藤野裕弘・内田晴久・松澤宏・小林一夫：「企業の CSR 活動と連携した実践系授業の展開（1）－CSR と大学院授業との連携－」，2010 年度日本環境教育学会第 21 回大会研究発表要旨集，pp. 156（2010）。
- 3) 藤野裕弘：「地域社会と連携した体験型環境教育の試み～東海大学の実践例～」，私立大学環境保全協議会会誌，第 15 号，19-24（2012）。
- 4) 日本学術会議環境学委員会環境思想・環境教育委員会 21 期提言：「高等教育における環境教育の充実に向けて」，2011 年 9 月 22 日。
- 5) 室田憲一・藤野裕弘 他：NPO と連携した体験学習型教育の試み，2003 年度日本環境学会第 29 回研究発表会講演要旨集，pp. 178-180（2003）。
- 6) 室田憲一・藤野裕弘 他：環境 NPO と連携した体験実習型環境教育の試み（1），東海大学紀要教養学部，第 35 輯，271-276（2004）。
- 7) 藤野裕弘・内田晴久 他：環境 NPO と連携した体験実習型環境教育の試み（2），東海大学紀要教養学部，第 36 輯，249-255（2005）。

- 8) 藤野裕弘・藤吉正明 他：環境NPOと連携した体験実習型環境教育の試み（3）．東海大学紀要教養学部．第37輯．247－252（2006）．
- 9) 藤野裕弘・内田晴久 他：環境NPOと連携した体験実習型環境教育の試み（4）．東海大学紀要教養学部．第38輯．271－278（2007）．
- 10) 藤野裕弘・内田晴久 他：環境NPOと連携した体験実習型環境教育の試み（5）．東海大学紀要教養学部．第39輯．289－294（2008）．
- 11) 藤野裕弘・内田晴久 他：環境NPOと連携した体験実習型環境教育の試み（6）．東海大学紀要教養学部．第40輯．365－370（2009）．
- 12) 藤野裕弘・内田晴久 他：地域社会と連携した体験型環境教育の試み～初等中等教育と連携した人材育成を中心に（1）～．東海大学紀要教養学部．第41輯．309－313（2010）．
- 13) 藤野裕弘・内田晴久 他：地域社会と連携した体験型環境教育の試み～初等中等教育と連携した人材育成を中心に（2）～．東海大学紀要教養学部．第42輯．297－304（2011）．
- 14) 藤野裕弘・内田晴久 他：地域社会と連携した体験型環境教育の試み～初等中等教育と連携した人材育成を中心に（3）～．東海大学紀要教養学部．第43輯．341－349（2012）．
- 15) 藤野裕弘・内田晴久他：地域社会と連携した体験型環境教育の試み～環境NPOとの連携を中心に（4）～、東海大学紀要教養学部、第44輯、269－178（2013）．
- 16) 藤野裕弘・内田晴久他：地域社会と連携した体験型環境教育の試み～環境NPOとの連携を中心に（5）～、東海大学紀要教養学部、第45輯、355－367（2014）．
- 17) 北野忠・小栗和也 他：地域社会と連携した体験型環境教育の試み～環境NPOとの連携を中心に（6）～、東海大学紀要教養学部、第46輯、237－242（2015）．
- 18) 藤野裕弘・日比慶久 他：大学と地域が連携したスタディ・ツアーの検討．東海大学紀要教養学部．第47輯．329－337（2016）．



写真1 ハサンベツ里山 湧水生き物観察



写真2 ハサンベツ里山 間伐体験



写真3 ハサンベツ里山 ナイトハイク



写真4 イグルー作り



写真5 スポーツ雪合戦



写真6 匠の森 道産家具ショールーム



写真7 環境ハウス前での記念撮影



写真8 取り組み最後のプレゼンテーション